

令和8年度 御作小学校 特色ある学校づくり推進事業 計画書

※分野【a: 国際交流・国際理解、b: 地域連携、c: 自然体験、d: 環境教育、e: 学力向上、f: 交流体験、g: 福祉・ボランティア、h: 伝統文化、iその他（ ）】から選ぶ。

テーマ	「人とのふれあいを通して、ふるさとを愛し、心豊かにたくましく生きる子」	分野	b	地域連携
サブテーマ	サブテーマ		その他	
学校づくりの視点（ねら）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域講師の力を生かし、学校の諸活動の中に取り入れ、活気ある学校づくりを図る。 ・体験活動や協働学習を進める中で、地域の自然や歴史、人々の生き方・考え方について学ぶ。 ・学んだ成果をさまざまな方法で発信する。 ・高学年の複式化により、隔年で野外ふれあい学習（佐久島交流）を野外学習として佐久島を訪れ、体験活動や他校との交流活動を行う。 			
活動内容・計画	<p>（各学年の活動）地域の学習素材に発達段階や系統性を考慮した単元を構成し、学習を進める。</p> <p>1年：野菜作りを通して、地域の方と交流したり、多くの体験をしたりする。地域の方から昔の遊びについて学ぶ。</p> <p>2年：野菜作りのことや、地域で様々な活動をしている人との交流から学んだことを、まとめたり発表したりする。</p> <p>3・4年：栽培した野菜の栄養や特徴について、探究テーマをもち、問題解決のため調理や調べ学習を行い、学んだことをまとめて他者へ表現する。障がい者について学んだり、障がい者の立場のわかる体験をしたり、交流したりする。</p> <p>5・6年：地域の特産の米作りを通して、農業に従事する人の苦労や工夫を学ぶとともに、学んだことを他者に伝える。また、棒の手や大沢池、ふじの回廊や城ヶ根山など地域にあるものから御作の魅力を発見し、その魅力をまとめたり、発表したりする。</p> <p>野外ふれあい学習（佐久島交流）を野外学習として佐久島を訪れ、体験活動や他校との交流活動を行う。また、佐久島の児童とオンライン等で交流する機会を設け、互いの地域について学ぶ。</p> <p>（全校での活動）</p> <p>全校：陶芸教室に地域講師を招き、作品づくりを通して地元の伝統産業について知るとともに、地域への愛着を深める。</p> <p>：本校独自の全校ダンス「シャイニングロード」や御作小学校の歌曲「まほろば」のための講師を招聘し、ダンスや歌唱の技能を高めるとともに愛校心を育て、保護者や地域の方たちに発信することで心の交流を図る。</p>			
補助員配置	校内整備員			
実績・期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人たちとの交流を通して、人々の思いや願いを知ることができる。 さらに、その活動を通して、地域に対する愛着を深め、誇りをもつことができるようになる。 ・課題を見つけ、調べたり、話し合いをしたりする中で、課題解決学習の方法を身に付けることができる。 ・学んだことを発表したり、自分たちと異なる考えを聞いたりする中で、自分の考えを広めたり、深めたりすることができる。 ・学校便りや学級通信を定期的に発行したり、ホームページで紹介したりすることで、保護者や地域の方へ学校の取組について知らせ、理解・協力を得て実践を行うことができる。 ・校内整備員の活動により、栽培活動をより充実させて行うことができる。 			
検証方法	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に特色ある学校づくり推進事業についてのアンケート調査を行う。 ・学校運営協議会委員から事業についての意見や感想を聞く。 ・子どもの体験活動や追究活動の感想から評価する。 			